



大学図書館問題研究会 第 26 回京都支部総会報告

第 26 回大図研京都支部総会が 10 月 10 日（金）午後 7 時から京大会館において開催されました。総会参加者は 10 名でした。まず、議長（支部長）より【第 1 号議案】「2002 年度活動総括及び 2003 年度（2003. 10－2004. 7）活動方針」について説明があったのち、討議に入りました。

その中で一番、議論になったのは会費未納者の問題でした。総会に出席された一般会員からは「現在の会費納入率は低すぎる。まともに会費を払っている者にとって納得できない。」という意見が出されました。これにたいして、未納者に個別に振込用紙を送付するなどのこれまでの対応策を説明するとともに、このことを活動報告にも付け加えることになりました。また今後、会費納入率の向上によりいっそう努めることを確認しました。そのほかにも、【第 1 号議案】について意見がいくつか出され、8 箇所を修正（「後日、確認した上で修正」も含む）の上、承認されました。修正箇所については以下の通りです。

[目 次]

| | | |
|--------------------------|-----|---|
| 大学図書館問題研究会第 26 回京都支部総会報告 | ... | 1 |
| 2002 年度会費納入のお願い | ... | 8 |
| 2003 年忘年会のご案内 | ... | 8 |

○ ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。

電子メール : dtkk@rg7.so-net.ne.jp (大学図書館問題研究会京都支部)

URL : <http://www009.upp.so-net.ne.jp/dtkk/index.htm>

はじめに

<修正前>

このように、評価が限られた資源の配分に結びつくというサバイバル的競争環境が文部科学省による統制強化を導くという構図が現実味を帯びてきています。大学の部署である図書館の中での数値化しにくいサービスが、効率という名のもとに切り捨てられる可能性が出てきています。

<修正後>

このように、評価が限られた資源の配分に結びつくというサバイバル的競争環境が文部科学省による統制強化を導くという構図が現実味を帯びてきています。数値化しにくい図書館のサービスが、効率という名のもとに切り捨てられる可能性が出てきています。

<修正前>

また、幅広い人的ネットワークを得て、利用者や書店・出版関係者とも積極的に交流し、良好な協力関係を築いていくことが必要です。

<修正後>

また、利用者や書店・出版関係者との積極的な交流等、幅広い人的ネットワークを育み、良好な協力関係を築いていくことが必要です。

1. 2002年度活動総括 (1) 京都ワンディセミナーの開催と会員間交流

<修正前>

・・・6月28日には京都ワンディセミナー「利用者の立場から見た図書館」(共催：京都大学大学院教育学研究科生涯教育学講座)を開催しました。

<修正後>

・・・6月28日には京都ワンディセミナー「利用者の立場から見た図書館」(共催：京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室)を開催しました。

1. 2002年度活動総括 (2) 支部報

<修正前>

編集体制を強化するとともに、サイズをA4版に改め、誌面を一新しました。執筆者の幅を広げること努めるとともに、支部委員が積極的に執筆することを心掛けました。また投稿規定を整備しました。

<修正後>

編集体制を強化するとともに、サイズをA4版に改め、誌面を一新しました。支部外から原稿を募るなど、執筆者の幅を広げること努めるとともに、支部委員が積極的に執筆することを心掛けました。また投稿規定を整備しました。

1. 2002年度活動総括 (4) 組織活動

<修正前>

会員数は85名(2002年6月現在)から87名(2003年8月現在)と微増しています。

しかし、今後、退職や異動による退会が予想されるため、あらゆる機会をとらえ、積極的に勧誘を努めるなど、引き続き、組織的な取り組みが必要です。

<修正後>

退職や異動による退会があったにもかかわらず、あらゆる機会をとらえ、積極的に入会の勧誘を努めたことにより、会員数は85名(2002年6月現在)から87名(2003年8月現在)と微増しています。引き続き、組織的な取り組みが必要です。

1. 2002年度活動総括 (5) 財政活動**<修正前>**

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行っていますが、2002年度会費の納入率は8月現在で64%です。

<修正後>

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、未納者に個別に振込用紙を送付するなど、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行っています。2002年度会費の納入率は8月現在で64%とおもわしくなく、このままでは支部活動に影響をおよぼしかねません。

2. 2003年度活動方針 (2) 支部報について**<修正前>**

定期発行に努めます。

<修正後>

定期発行(月刊)に努めます。

2. 2003年度活動方針 (4)**<修正前> (4) 会費を全員が前納します。**

会員としての義務である会費納入を全員が確実に行いましょう。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で取り組みます。

また、個々の会員に積極的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

<修正後> (4) 会費納入率の向上

会員としての義務である会費納入率の向上に努めます。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で取り組みます。

また、個々の会員にあらゆる機会をとらえ積極的に直接的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

続いて【第2号議案】「2002年度決算、2003年度予算及び会計監査報告」が提案されました。予備費の額が大きすぎるという指摘を受けて、2003年度予算の支出の部・予備費217,897円を予備費157,897円と特別事業準備金60,000円に分けました。また、2002年度決算の支出の部・研究交流集会費の(内訳)、研究会の備考欄にセミナー毎の内訳を表示するなど、若干の修正を加えた上で承認されました。

続いて【第3号議案】「2003年度大学図書館問題研究会京都支部役員候補」が承認されました。

【第1号議案】2002年度活動総括 及び**2003年度(2003.10~2004.7)活動方針****はじめに**

国立学校制度を廃止する国立大学法人法等が2003年7月9日の参議院本会議で可決され成立しました。法人化後の大学図書館関係予算の各大学への交付は、運営交付金として各大学ごとに一本の経費として配分される予定です。各国立大学図書館は予算確保を目指して、大学の

中期目標・中期計画に図書館の目標や企画を盛り込むことに努力を傾注することになるでしょう。また、昨年11月に成立した改正学校教育法は、設置認可制度の大転換や、認証評価制度の創設、専門職大学院の創設、法令違反の大学の是正措置等を決めており、単に国立だけでなく、国公私大学、短大、高専にも適用されます。このように評価が限られた資源の配分に結びつくというサバイバル的競争環境が文部科学省による統制強化を導くという構図が現実味を帯びてきています。数値化しにくい図書館のサービスが、効率という名のもとに切り捨てられる可能性が出てきています。このような状況下において、現場の図書館員は、予算と人員の抑制という問題をかかえつつ、サービスの多様化、高度化を迫られています。このような時にこそ、図書館員ひとりひとりの専門的力が問われています。

個々の図書館員の能力のレベルアップをはかるためには、雇用形態を問わず、すべての図書館員が協力し合い、情報の交換や研修の機会が継続的に提供されることが必要です。そのことが結果として利用者へのサービス向上につながることを積極的にアピールしていかなければなりません。また、利用者や書店・出版関係者との積極的な交流等、幅広い人的ネットワークを育み、良好な協力関係を築いていくことが必要です。

大学図書館問題研究会京都支部では、このような状況を踏まえ、図書館員のより高度な力量形成に向けて活動を展開して来しました。

1. 2002年度活動総括

(1) 京都ワンディセミナーの開催と会員間交流

2002年10月5日に京都ワンディセミナー「韓国における大学図書館のアウトソーシング」(共催：京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室)を開催しました。講師として、金英貴氏(新羅大学助教授・京都大学大学院教育学研究科招聘外国人)をお呼びしました。2003年6月14日には学術情報ワークショップ2003(summer)「学術情報流通の新たなるステップ：学術文献宇宙とリンク機能の展開」に日本図書館研究会・マルチメディアと図書館研究グループ他との共催のかたちで運営に参加しました。6月28日には京都ワンディセミナー「利用者の立場から見た図書館」(共催：京都大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室)を開催しました。始めに藤原由華氏(京都大学附属図書館)、大橋亜紀子氏(京都大学工学研究科・工学部物理工学系図書室)に利用者教育の事例報告をしていただき、その後大学院生と図書館員、フロアを交えてのパネルディスカッションを行いました。

(2) 支部報

編集体制を強化するとともに、サイズをA4版に改め、誌面を一新しました。支部外から原稿を募るなど、執筆者の幅を拡げることに努めるとともに、支部委員が積極的に執筆することを心掛けました。また投稿規定を整備しました。

(3) ホームページとメーリングリスト

2003年2月にホームページのデザイン、内容をリニューアルしました。

メーリングリストについては、支部委員会報告や行事の案内などコンスタントに情報を会員に提供するように努めてきました。

(4) 組織活動

退職や異動による退会があつたにもかかわらず、あらゆる機会をとらえ、積極的に入会の勧

誘を努めたことにより、会員数は85名(2002年6月現在)から87名(2003年8月現在)と微増しています。引き続き、組織的な取り組みが必要です。

(5) 財政活動

財政活動については、支部委員会として毎月状況を把握するとともに、未納者に個別に振込用紙を送付するなど、前年度に引き続いて積極的な会費納入の働きかけを行っています。2002年度会費の納入率は8月現在で64%とおもわしくなく、このままでは支部活動に影響をおよぼしかねません。

2. 2003年度活動方針

(1) 研究活動のさらなる発展と会員間のコミュニケーションの重視

今年度も会員のニーズに応えた研究活動の充実をはかり、会員の専門的力量形成に役立てます。また会員間のコミュニケーションを促進するため支部報の発行、ホームページの充実など、一層の努力をします。

積極的に会員間の交流の機会をつくることに努めます。

(2) 支部報について

定期発行(月刊)に努めます。

会員の多様なニーズに応え、各人のスキルアップに貢献できる内容になるよう努力します。

読みやすい紙面づくりを心がけます。

できるだけ多くの人に執筆していただけるよう努力します。

(3) 会員を増やす活動

大学図書館問題研究会および京都支部の活動を説明し、会員を増やす活動を進めます。特に若手の会員を増やし組織の若返りをはかることを重視します。

そのために魅力ある企画を立てるように努力します。

(4) 会費納入率の向上

会員としての義務である会費納入を全員が確実に行いましょう。

財政活動を一層前進させるため、支部委員会において、毎回担当者から報告と提案を受け、全員で取り組みます。

また、個々の会員に積極的に声をかけ、会費納入をはたらきかけます。

【第2号議案】2002年度決算報告活動総括 及び

2003年度予算及び会計監査報告

2002 年度決算 (2002.7~2003.6)

| 総収入 | 総支出 | 差引残高 |
|---------|---------|---------|
| 365,177 | 206,580 | 158,597 |

収入の部

| 項目 | 予算 | 決算 | 差引額 | 備考 |
|-------------|---------|---------|---------|--|
| 前年度繰越金 | 131,328 | 131,328 | 0 | |
| 2002 年度会費 | 232,200 | 153,900 | 81,000 | 57 名 |
| 2001 年度会費 | 51,300 | 18,900 | 32,400 | 7 名 |
| 2000 年度会費 | 20,400 | 6,800 | 13,600 | 4 名 |
| 1999 年度以前会費 | 8,500 | 1,700 | 6,800 | 1 名 |
| 支部報購読会員 | 0 | 6,000 | △6,000 | 1 名 (2002~4) |
| 支部活動援助金 | 10,000 | 10,000 | 0 | |
| 雑収入 | 0 | 6,549 | 6,549 | 寄付・利息 |
| ワンデイセミナー参加費 | | 30,000 | △30,000 | (2002.10.05 開催分 500 @29・2003.06.30 開催分 500@31) |
| 計 | 453,728 | 365,177 | 88,551 | |

支出の部

| 項目 | 予算 | 決算 | 差引額 | 備考 |
|------------|---------|---------|---------|--|
| 会報 | 65,000 | 68,587 | △3,587 | |
| (内訳) | | | | |
| 印刷費 | 25,000 | 33,867 | △8,867 | |
| 郵送費 | 40,000 | 34,720 | 5,280 | |
| 研究交流集会費 | 130,000 | 100,829 | 29,171 | |
| (内訳) | | | | |
| 新春合同支部例会 | 20,000 | 0 | 20,000 | |
| 研究会 | 100,000 | 98,779 | 1,221 | 2002.10.5 開催分 21,850 2003.6.28 開催分 76,929 |
| 支部総会 | 10,000 | 2,050 | 7,950 | |
| 全国委員会参加補助費 | 30,000 | 10,000 | 20,000 | |
| 事務費・通信費 | 10,000 | 3,164 | 6,836 | |
| HP 維持費 | 24,000 | 24,000 | 0 | |
| 予備費 | 194,728 | 0 | 194,728 | |
| 合計 | 45,3728 | 206,580 | 247,148 | |

2003 年度予算 (2003.7~2004.6)

収入の部

| 項目 | 予算 | 備考 |
|-----------|---------|---|
| 前年度繰越金 | 158,597 | |
| 2003 年度会費 | 234,900 | 87 名 |
| 未納会費 | 128,400 | 2002 年度 29 名・2001 年度 11 名・2000 年度 8 名・1999 年度以前 4 名 |
| 支部活動援助金 | 10,000 | |
| 合計 | 531,897 | |

支出の部

| 項目 | 予算 | 備考 |
|------------|---------|-----------|
| 会報 | 90,000 | |
| (内訳) | | |
| 印刷費 | 42,000 | |
| 郵送費 | 48,000 | |
| 研究交流集会費 | 160,000 | |
| (内訳) | | |
| 新春合同支部例会 | 50,000 | |
| 研究会 | 100,000 | |
| 支部総会 | 10,000 | |
| 全国委員会参加補助費 | 30,000 | |
| 事務費・通信費 | 10,000 | |
| HP 維持費 | 24,000 | 一ヶ月 2,000 |
| 予備費 | 157,879 | |
| 特別事業基金繰入 | 60,000 | |
| 合計 | 531,897 | |

2002 年度 特別事業基金

2002 年度は特別事業基金繰入はなし。

現在の特別事業基金は 174,850 円です。

2002 年度大学図書館問題研究会
京都支部会計監査報告

帳簿及び現金は適正に保管・記載されていた。

2003 年 10 月 8 日

西川 慈子 (印)

福井 京子 (印)

【第3号議案】2003年度大学図書館問題研究会京都支部役員候補

支部委員候補 (50音順)

| | |
|--------|--------------------------|
| 赤澤 久弥 | (京都大学工学研究科・工学部電気系図書室) |
| 井上 敏宏 | (京都大学附属図書館) |
| 大館 和郎 | (京都学園大学図書館) |
| 金森 孝之 | (京都大学薬学部図書室) |
| 進藤 達郎 | (京都大学工学研究科・工学部物理工学系図書室) |
| 辰野 直子 | (京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館) |
| 呑海 沙織 | (京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館) |
| 村上 美代治 | (龍谷大学学術情報センター瀬田図書館) |
| 吉田 誠 | (京都工芸繊維大学附属図書館) |

監査委員候補

| | |
|-------|-------------------------|
| 福井 京子 | (京都大学教育学研究科・教育学部図書室) |
| 大橋亜紀子 | (京都大学工学研究科・工学部物理工学系図書室) |

全国委員候補

| | |
|-------|--------------------------|
| 呑海 沙織 | (京都大学人間・環境学研究科総合人間学部図書館) |
|-------|--------------------------|

○ 2002年度、2003年度 会費納入のお願い

晩秋の候、会員の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。2002年度大図研会費及び支部会費の納入状況をお知らせいたします。すでに2002年度(大図研会計年度2002.07~2003.06)が終了していますが、納入率は六割程度と依然として思わしくない状況にあります。

会費納入率の低下は大図研の活動に影響を与えるだけでなく、支部セミナーなどにも悪影響を及ぼします。納入いただいていない会員の皆様におかれましては、一刻も早い会費の納入にご協力いただきますようお願いいたします。また、既に新会計年度に入っていますので2003年度の会費につきましても納入をお願いいたします。

| | |
|-----------------|--------|
| 記) 大学図書館問題研究会会費 | ¥5,000 |
| 京都支部会費 | ¥2,000 |
| 合計 | ¥7,000 |

会費は下記口座に郵便振替でお送りいただくか、お近くの支部委員にことづけていただきますようお願いいたします。

郵便振替振替口座番号 01090-4-5904 大学図書館問題研究会京都支部

ご不明な点は京都支部財政担当・吉田(京都工芸繊維大学)までお願いいたします。 myos@kdm.jrnet.ne.jp

○ 2003年 忘年会のご案内

下記日程で大図研京都支部の2003年忘年会を催します。

日時：12月2日(火) 19時30分～

場所：「大文字」

京都市左京区吉田泉殿町42-3

電話 075-751-6510

◆皆様、是非ご参加ください◆

